

新しい生活様式に関するアンケート調査 結果について



令和4年11月
八千代市障害者自立支援協議会
くらし分科会

1. 八千代市障害者自立支援協議会くらし分科会について

障害者が地域で安心して暮らしていけるための協議機関として、障害者総合支援法に基づき「八千代市障害者自立支援協議会」が設置されている。障害者の相談・支援等に関する代表者が委員となり、情報を共有し合いながら、障害者の地域生活を支援する為の取り組みを行っている。

協議会では「くらし」「こども」「しごと」「つなげる」の4つの分科会があり、「くらし分科会」では、障害者を取り巻く暮らしの中で身近にある障害者が抱える問題について周知・啓発活動を行っている。

2. 調査目的

新型コロナウイルスの流行から経過し、新しい生活様式の1つである「マスクの着用」に重点をおき、障害者がどのようなことで不安や困りごとを抱えており、どのような配慮を求めているかを収集することを目的にアンケートを実施した。

3. 実施概要

- ◆実施期間 : 令和4年1月～3月
- ◆調査対象 : 障害者、障害者の家族、障害施設関係者他
- ◆配布数 : 548通
- ◆回答数 : 332通（回答率60.5%）

4. 総括

「コロナ禍で、マスクをつけられない障害者が外出できなくて困っている。」

これは令和2年11月に開催した、くらし分科会で委員より出た、障害者のくらしに関する問題提起でした。

令和2年当時は、新しい生活様式でマスク着用が必須であることが社会的にも強まっており、マスクをつけられない障害者に対する解決策を見つけるのが難しい状況でした。

解決策がなくても、コロナ関連で困っている障害者や家族等の生の声を拾い上げて、くらしのしづらさを発信することに意味があると考え、令和3年度よりアンケートを実施しました。

令和4年度には、回収したアンケートの統計及び分析した結果を取りまとめました。アンケートにご協力いただいた方々には改めてこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

自由記述方式では様々な想いや要望が込められており、この報告書に全てを記載することはできませんが、いただいた「声なき声」を社会に発信することで、より多くの方の理解が進むことを願います。

アンケート結果を大きく集約すると3つの声がありました。

- ① 「障害者や障害をもつ人の事を理解して欲しい」 → マスク利用できない人・障害の特性の理解
- ② 「社会とつながりたい」 → 交流の場、困り事を相談できる居場所、人・地域と繋がりある幸せ
- ③ 「分かりやすく情報を発信して欲しい」 → 意思表示カード、SNSやHP等のメディアの活用

アンケート結果より、コロナ流行以前から改善しにくい複雑な思いが更に「新しい生活様式」で、よりくらしのしづらさを感じ、声を上げたくても上げられない状況を感じました。

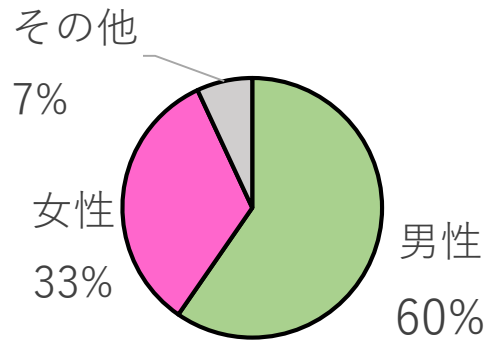
その一方で「新しい生活様式」の中での困りごとは、一例をあげると、周囲がマスクをつけられない人がいることを理解し、マスクできない人に対して配慮する社会になれば解決の道が少しみえてくるのではないかと考えます。

私たち「くらし分科会」では、マスクをつけられない障害者の問題だけでなく、くらしの中で身近にある障害者の問題についての周知・啓発を通じて、障害者が安心して豊かに暮らせるよう、活動を行ってまいります。

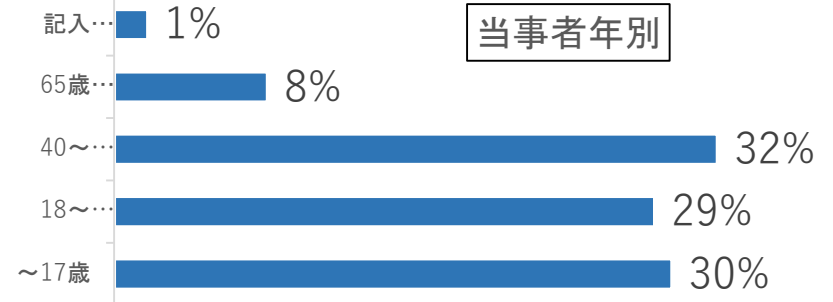
八千代市障害者自立支援協議会くらし分科会委員一同

当事者の情報

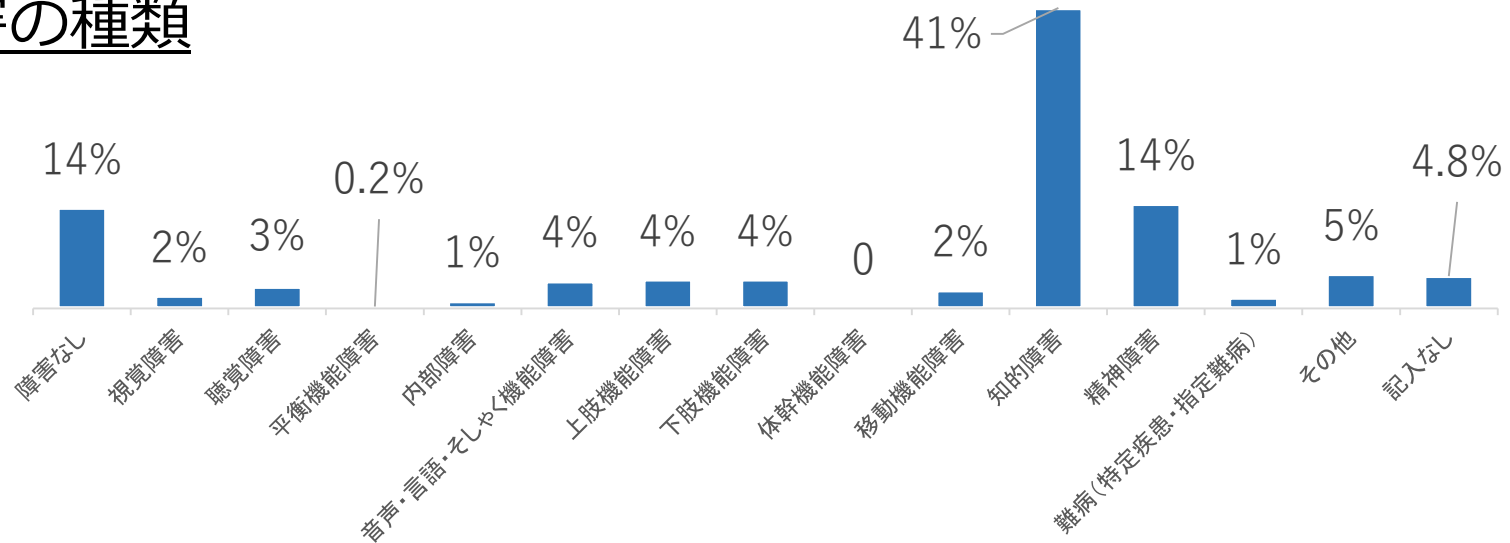
性別



年別



障害の種類



【質問 1】：マスクの着用について

感染拡大防止にはマスクの着用が大切だと言われています。当事者にとって、現在のマスク着用状況についてあてはまるものを選択してください。

- ①特に問題もなく、マスクを着用しており、困っていることもない。→【質問 2 へ】
- ②我慢しながら、マスクを着用しており、困っていることがある。→【質問 1 - 1 へ】
- ③マスクを着用することができない。→【質問 1 - 1 へ】

- ・「①マスク着用に問題なし」は全体で半数を超える。
- ・「③マスクを着用することができない」の約 7 割が知的障害の方が多い。
- ・複数の障害をお持ちの方が③で回答している。（例：上肢と下肢・音声言語）
- ・障害部位毎でみると①>②+③と「①問題なし」が多いが、聴覚障害・音声言語・下肢機能の方は①<②+③となり、「②我慢・③困っている」が多くなる。

回答	総数	男性	女性	その他	障害 無	障害 有	その他	視覚 障害	聴覚 障害	平衡 機能	内部 障害	音声 言語	上肢 機能	下肢 機能	体幹 機能	移動 機能	知的 障害	精神 障害	難病	その他	記入 なし
①	192	114	70	8	34	168	21	4	4	0	3	7	9	7	0	3	89	36	6	8	13
②	100	58	32	10	18	91	11	3	6	0	1	5	2	4	0	1	51	18	0	7	4
③	31	21	6	4	4	44	4	0	1	1	0	3	5	4	0	5	22	3	0	4	0
未記入	9	5	3	1	0	9	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	5	1	0	0	1
合計	332	198	111	23	56	312	37	7	12	1	4	15	16	16	0	10	167	58	6	19	18

【質問 1－1】：質問 1 で②又は③を選択した理についてあてはまるものを選択してください。（複数選択可）→回答後【質問 1－2へ】

- ①触覚・嗅覚などの感覚過敏のため
- ②呼吸の調整ができないため
- ③生地アレルギーや皮膚の病気などによる肌荒れ
- ④体温の調節ができないため
- ⑤その他（ ）

⑤その他（44%）を除くと「③表情が触覚・嗅覚などの感覚過敏」（24%）→「②呼吸の調整」（19%）→「③生地アレルギー～」（8%）と障害の特性によりマスクの装着に不便を感じていることがわかった。また、その他の割合が多く、困り内容が多種多様であることがわかった。

その他に記載あった主な回答は以下のとおり。（同様の回答は集約しています。）

- ・長時間のマスク着用ができない。
- ・マスクの着用の必要性について理解ができない。
- ・マスクにこだわりがあり自分が納得いく物しかつけてくれない。気分によりマスク着用を嫌がる。
- ・舌でマスクをさわってしまうため、マスクが濡れてしまい、呼吸の妨げになる。

回答	総数	男性	女性	その他	障害 無	障害 有	その他	視覚 障害	聴覚 障害	平衡 機能	内部 障害	音声 言語	上肢 機能	下肢 機能	体幹 機能	移動 機能	知的 障害	精神 障害	難病	その他	記入 なし
①	18	9	6	3	2	28	1	0	1	0	0	2	2	2	0	3	13	5	0	1	0
②	27	13	10	4	5	44	2	0	2	13	0	1	1	2	0	2	15	8	0	1	1
③	58	24	27	7	16	50	5	0	6	0	0	5	1	4	0	0	22	12	0	2	3
④	42	27	12	3	7	53	5	1	2	1	0	2	4	4	0	4	26	9	0	4	1
⑤	40	24	10	6	4	42	8	1	0	0	0	1	2	3	0	2	28	5	0	8	0
合計	185	97	65	23	34	217	21	2	11	14	0	11	10	15	0	11	104	39	0	16	5

【質問 1－2】：マスクの着用に関して、当事者が困っていることについてあてはまるものを選択してください。（複数選択可）→回答後【質問 1－3へ】

- ①店の入口に「マスク着用」掲示があり、入店をためらったことがある。
- ②マスクを着用できないことで、病院・電車・バスなどの利用をためらったことがある。
- ③相手がマスクをしていると、表情が見えない、聞き取りにくい。
- ④マスクを着用できないことで周りにどう見られるか不安になることがある。
- ⑤その他（ ）

⑤その他（22%）を除くと「③表情が見えない・聞き取りにくい」（31%）→「④どう見られるか不安」（23%）→「③病院などの利用のためらい」（15%）で①・②・④合わせると48%になり、約半分が周りの視線を気にする・行動範囲にためらうなどで不安を感じていることがわかった。

その他に記載あった主な回答は以下のとおり。（同様の回答は集約しています。）

- ・マスクの着用が苦手なため、外出しにくい。周囲の目が気になってしまう。
- ・周囲の人々から「マスクをして」と強く言われる。
- ・当事者がマスクできない困り感より、周囲の困り感の方が大きいのではないか。

回答	総数	男性	女性	その他	障害 無	障害 有	その他	視覚 障害	聴覚 障害	平衡 機能	内部 障害	音声 言語	上肢 機能	下肢 機能	体幹 機能	移動 機能	知的 障害	精神 障害	難病	その他	記入 なし
①	18	9	6	3	2	28	1	0	1	0	0	2	2	2	0	3	13	5	0	1	0
②	27	13	10	4	5	44	2	0	2	13	0	1	1	2	0	2	15	8	0	1	1
③	58	24	27	7	16	50	5	0	6	0	0	5	1	4	0	0	22	12	0	2	3
④	42	27	12	3	7	53	5	1	2	1	0	2	4	4	0	4	26	9	0	4	1
⑤	40	24	10	6	4	42	8	1	0	0	0	1	2	3	0	2	28	5	0	8	0
合計	185	97	65	23	34	217	21	2	11	14	0	11	10	15	0	11	104	39	0	16	5

【質問1－3】：質問1－2の困っている内容について、どのように解決していますか？解決されていない場合、どのような配慮を望みますか？→回答後【質問1－3へ】

自由記述方式で118名より回答があった。（同様の回答は集約しています。）

どのように解決しているか （当事者家族）＝当事者の家族が回答

- ・ 未解決→解決していない，仕方がない，外になるべくでない，人の集まる場所を避ける。
- ・ 声かけ→当事者がマスクを外した時は声かけをしてマスクをつけさせている。（当事者家族）
- ・ 意思表示→「マスクをつけられません」のバッジ等を身に着けている。
- ・ マスクの工夫→大臣マスク着用，フェイスシールド着用，マスクを外してしまった場合はハンドタオルを口に当ててもらふ。（当事者家族），
- ・ 移動の工夫→車で出掛けている（当事者家族），「障害がありマスクが出来ないが利用してもいいか？」と事前に問い合わせる。（当事者家族）

どのような配慮を望むか

- ・ 感覚過敏など何らかの理由でマスクを着用できない人がいることを理解して欲しい。
- ・ 不織布マスクを着用できない人に対しては布マスクの着用を認めて欲しい。
- ・ 妊婦さんのバッジのように，マスクができない人の意思表示ツールが社会に広まって欲しい。
- ・ マスクをつけない人をジロジロ見たり，きつく注意しないで欲しい。
- ・ マスク着用により，声が聞き取れなかった時は怒らないで欲しい。

【質問2】：新しい生活様式について

①特に困っていることはない→【質問3へ】

②外出することができなくなった

③身体的な不調が増えた

④人と交流する機会が大幅に減った

⑤新型コロナウイルスに関する情報が入ってこない

⑥情緒不安定になることが増えた

⑦障害福祉サービスの利用が制限された

⑧その他（ ）

質問1のマスク着用に関して全体の4割が何かしら困りごとがあったのに対し、新しい生活様式は全体の7割が困りごとがあることがわかった。

困り内容としては「④交流機会が大幅に減少」（26%）→「②外出できなくなった」（20%）の2つを合わせると約半分の方が外出の制限により交流機会が大幅に減少したことにより、不安を感じていることがわかった。

「⑧その他」は主に「今までの日常生活が送れなくなったことによる不安や不便を感じている」旨の記載があった。

回答	総数	男性	女性	その他	障害 無	障害 有	その他	視覚 障害	聴覚 障害	平衡 機能	内部 障害	音声 言語	上肢 機能	下肢 機能	体幹 機能	移動 機能	知的 障害	精神 障害	難病	その他	記入 なし
①	130	79	49	2	14	119	14	3	2	0	3	5	5	2	0	2	70	22	5	6	8
②	88	54	24	10	17	50	3	1	3	17	1	1	2	2	0	2	14	7	0	1	2
③	12	7	4	1	2	10	2	0	1	0	0	1	1	1	0	0	2	4	0	2	0
④	112	58	39	15	28	90	12	1	10	0	1	7	3	5	0	1	44	18	0	6	6
⑤	4	1	2	1	1	5	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0
⑥	34	23	6	5	1	40	5	0	1	0	0	3	2	3	0	1	22	8	0	3	2
⑦	34	21	8	5	2	41	4	1	1	0	0	1	1	3	0	1	28	5	0	3	1
⑧	24	11	10	3	4	22	5	1	2	0	0	1	2	2	0	1	7	6	0	4	1
合計	438	254	142	42	69	377	45	8	20	17	5	20	17	19	0	8	188	70	5	25	20

【質問２－１】：質問２の困っていることについて、どのように解決していますか？解決されていない場合、どのような配慮を望みますか？→回答後【質問３へ】

自由記述方式で163名より回答があった。（同様の回答は集約しています。）

②外出することができなくなった（88名）

解決方法→近場の外出，ドライブ，別の楽しみを見つける。（テレビ電話・読書・ネットショッピング）

求める配慮→交流する機会を増やして欲しい，マスクができない人がいることの啓発活動。

③身体的な不調が増えた（12名）

解決方法→あっちこっち痛くなりますが，通院では老化です。と云われています。なるべく動くようにしています。今は三食作って食べてます。

④人と交流する機会が大幅に減った（112名）

解決方法→LINE・音声電話で交流，ドライブ，交流できる場（保育園，療育施設等）での時間・対応を大切にしている。

⑤新型コロナウイルスに関する情報が入ってこない（4名）

求める配慮→市のホームページに新型コロナウイルスに関する情報がアップされていますが，せめて市長のメッセージに文字だけでなく手話の動画をつけて欲しい。

⑥情緒不安定になることが増えた（34名）

日頃から閉じこもりがちなので外出をすることで気分転換していましたが，外出時間が少なくなり今はテレビラジオ音楽読書などで過ごしていますが解決にはならず強迫症状がひどくいらいらしています。

⑦障害福祉サービスの利用が制限された（34名）

求める配慮→利用している福祉サービスがコロナで休業している時の預け先がほしい。

濃厚接触ではないのに学級閉鎖している時の預け先がほしい。

⑧その他（24名）→情報によって不安になる，これまで通りの生活ができなくなり不便。

【質問 3】：今後の生活において望むもの（当事者だけでなく当事者以外の回答も可です。）

八千代市第 5 次障害者計画では「住み慣れた地域で共に暮らし、共に参加する」を基本理念とし、「つながりあいながら、地域でくらす」をキャッチフレーズに共に地域でくらすまちを目指すことを掲げております。

新型コロナウイルスの感染拡大や災害時、また日常生活において、「つながりあいながら、地域でくらす」ためにも、市や地域社会にどのような理解と配慮を望みますか？

質問 3 においては、自由記述方式で 182 名より回答があった。当事者だけでなく、当事者以外の家族の方や当事者に関わりのある施設関係者・学校関係者・意思疎通支援者より、それぞれの立場での率直な想いが記載されていた。

回答内容を大まかな分類に振り分けて件数を統計した結果は以下のとおり。（1 名の方で複数の項目に関する意見もあったことから①から⑤まで足した合計と回答者 182 名は同数になりません。）

①障害に対する理解に関すること 58 件（31%）

②社会全体に関すること 53 件（29%）

③市に対する要望 41 件（22%）

④災害に関すること 32 件（17%）

⑤コロナに関すること 27 件（14%）

上位 3 位はほぼ同率で、内容として繋がっていると感じた。①から③を通じて

「①障害の理解を促し」

「②住み慣れた地域や社会とつながる機会を作る為に」

「③分かりやすく情報を発信」→市や地域社会に対しての要望

する仕組みが求められているのではないかとと思われる。

また、④災害に関することでも同様に「人とのつながり」の大切さが当事者やご家族の切実な声として挙げられていた。障害に対する理解啓発を社会に発信していくと共に地域交流の場等に参加しやすい情報をどのように発信して、地域や人との「つながり」に活かすかが課題ではないか。

質問 3 : 主な回答内容 (ほぼ原文を掲載。)

①障害に対する理解に関すること 5 8 件 (3 1 %)

▼「頼むから、冷たい目で見ないでください。あなたの子供や孫が、そしてあなた自身がそんな目で見られたらどんな気持ちになるか想像してみてください。」コロナでのマスク着用など「一定のルール」がありますが、あくまでそれはマスクが正しく付けられる人の理屈です。障がい者はどこにでもいる。今は健常でも、事故や病気で障がい者となる事は誰にでもある。という事を皆が心のどこかで意識できるような八千代市であればと思います。

▼子ども用車椅子に乗って外出すると、ものすごくジロジロ見られることがあります。「世の中には障害のある人がいる」ということが、もっと当たり前になってほしいです。

パラリンピック等で身体が不自由な人、視覚障害などは何となく知る機会はあると思うが、知的障害や重度心身障害は知る機会が少ないように思います。1年に1回の学校教育でも何でも良いので、そのような人がいること、マスクがつけられない人や騒いでしまう人など色んな人がいるが、その人が悪いわけではないことなど、知ってもらう機会を作ってほしいです。

▼子どもの頃から障害のあるなしに関わらず、保育・学校・課外活動などなど「一緒に過ごす環境（機会）」をつくっていくことでお互いへの理解が深まるのではないかと思います。（障害あるなしの関係ではなく「自分以外」の多様性を知ることが皆生きやすくなると思います。）お世話になっております。

▼ふだん接触していない方にはマスクうんぬん以上に障害者に対しての理解がなければむずかしいです。まして、自分や家族の命の方が大事で近づいてほしくないと思うでしょう。できれば交流できる行事にはなるべく参加すべきです。

理解してもらいより慣れてもらうという言い方が正しいかとずっと思っています。

質問 3 : 主な回答内容 (ほぼ原文を掲載。)
②社会全体に関すること 53件 (29%)

▼地域社会に理解と配慮を！というより当事者と家族が社会に理解してもらえるようにすごす！と考えます。

▼障害の有無にかかわらず、助けを必要としている人、自分なりの力でがんばろうとしている人に対してあたたかな気持ちで接する、助け合えるような寛容な社会になって欲しい。

▼自助・共助・公助 自助の負担が年々増しています。

日本社会の全体的な高齢化、中流層の減少と下層人口の増加、底辺の増加

個人の孤立化が進んでいます。このような急激な社会の変化を注視していく姿勢が大切です。

▼たすけてほしいけどたすけてといえないの。

▼障害者に対して理解の有る人ばかりでは無い世の中になっている今は自分だけで精いっぱい他人への思いやりや行動は難しい時代に成っていると思います。

特にコロナ時代では密は駄目、ソーシャルディスタンスでと言われてしまいます。行事も中止に成って淋しいですね。

私は近所の一人暮らしの老人の方と仲良くして、障害者の息子を見守っていただいたり、困った時には助け合っています。

まずは近い所から協力し合い、助け合い、深入りせずに生活出来る事が一番だと思います。障害が有っても楽しく生活出来るのが本人や回りの人達にも幸せな事だと思い、そう有って欲しいです。意思表示カード等は活用してみたいと思います。

質問の解答にはなっていないかも知れませんが、人とつながって暮らせるのは幸せな事です。住みやすい地域社会を目指して頑張りましょう。

質問 3 : 主な回答内容 (ほぼ原文を掲載。)

③市に対する要望 4 1 件 (22%) その 1

▼気楽に立ち寄れ、困りごとを相談できる居場所を増やしてほしい。また、自分から発信できない人も何とか救って欲しいです。こんな所がある、こんな場所があることを教えて欲しいです。

▼「地域で暮らす」という部分に関しては、利用できる福祉サービスに限りがあり、本人・保護者が希望する場所に通えず、他市の事業所を利用している方がいます。特に、重度心身障害者の方や医療的ケアが必要な方の選択肢が少なく、遠くの事業所を利用されている方が多くいます。そのため、福祉事業所の数等の増設を検討していただければと願っています。

▼地域で暮らすにも受け入れ施設も少ない。当事者、家族の相談に乗り、基本理念が守られるようもっと改善して欲しい。

▼市に対しては理論的には合っているが、現実的ではない施策は不用。障害者の緊急一時預かりの場の整備（宿泊可）をお願いしたい。地域社会には、障害者も同じ地域に暮らしていることを忘れないでほしい。在宅避難を支えてもらいたい（長期の場合）市に相談した時は、困っている事を解決するために一緒に方法を考えてもらいたい。揚げ足を取られたような返事は悲しいです。代案掲示していただいた時はとても助かり、信頼深まりました。

▼道路歩道を広くして欲しい。段差をなくして歩道はガードレールに統一して欲しい。バスに乗れないのでタクシーを使うことが増えました。タクシー券をもっと使いやすく（1冊で持ち歩くのは不便です。）して欲しい。

質問 3 : 主な回答内容 (ほぼ原文を掲載。)
③市に対する要望 4 1 件 (22%) その2

▼市政の見える化を。どこに相談したらよいかと迷う人が出ないように。横のつながりは大切。どの課に行っても次に進めるように。地域では、小さなことでも気にかけてつながりを大切にしていける気持ちが必要かと。

▼困り事を話したり、一人ではないと思えることで心強いのではないか？ (厳しい状況なのは重々承知しているが、地域の公共施設等で地域の方と触れ合うことができれば有難い。

▼キャッチフレーズが絵に描いた餅にならないよう日頃から地道に障害理解につながる運動をしていかなければいけないです。

▼介護者に何かあった場合 (入院など・・・) 時の当事者の宿泊施設の確保！！年齢問わず！！切に願います。

▼障害があったり、ヘルプがある子も同じように通える、学校、幼稚園、保育園など増やして欲しい。

▼広報、市長、市のSNSでも、少しずつ、障がい、手話などを掲載して欲しいです。コロナばかりではなく・・・。障がいのことも・・・。

▼情報の発信を文章だけでなく音声や動画など様々な媒体を使って行うようにしていただけると助かります。

質問 3 : 主な回答内容 (ほぼ原文を掲載。)
④災害に関すること 3 2 件 (1 7 %)

▼障害児者も避難所に行く事を理解してほしい。

- ・急に近付いてしまう事やじっと目で追う事があると知ってほしい。
- ・急な環境の変化に弱い事を知ってほしい。
- ・周囲に人が多いとパニックになる事を知ってほしい。

▼常に考えていることですが、自閉症の娘は避難所では過ごせないと思います。(人混みが苦手、じっとしてられない、静かにできない) 人が集まる場所にとどまる事態になった時は、エリアを分けて頂くなどの配慮を望みます。

▼災害時に重度の知的障害のある人も周囲に気を遣い過ぎず避難できる場所が欲しいです。八千代市がそのようなマップを出しているのは知っていますが、高齢者施設も含まれており、支援の必要な高齢者、障害者の数と施設数が足りてないと思います。

▼新型コロナは終息することが望みであり、これも今後終息するのか誰もわかりません。人との接触も今は無理。今、災害が起きて避難生活にでもなったら、感染が広がる事が心配です。

▼発生時の対応マニュアル活用 (避難マップをどう活用し、実際動けるのか)

▼特に、今のような状況や災害と言った場合には、誰しもが心のゆとりや余裕といった物を失いがちなので、障害の特性について日頃から知ってもらう機会が大切だと思います。

▼日常生活において障害者は家族の中又は組織(施設)での生活をしています。よって特に災害時に於いては自己判断による単独行動は無理と考えられます。障害も多種である為、障害別、個別対応が必要ではないかと考えます。

質問3：主な回答内容（ほぼ原文を掲載。）
⑤コロナに関すること27件（14%）

▼PCR検査などの検査を気軽に受けられるようにしてほしい。駅のトイレに消毒液を置くなど、清潔に留意してほしい。

▼コロナ禍なので、生きにくい世の中になっている。必要以上に外出もできず、ストレスも感じている方も多いと思う。現在の環境で何かを求めることは難しいと思うが、感染対策をとった上で集いの場のような所があれば良いと思う。困り事を話したり、一人ではないと思えることで心強いのではないかな？（厳しい状況なのは重々承知しているが、地域の公共施設等で地域の方と触れ合うことができれば有難い。）

▼少し前にはマスクを使うということは当たり前じゃなかったのに何故？と思う時がありました・・・でも、TVなどのアナウンスで怖くなりました。インフルエンザのように感じていましたが、こんなに多くに人がコロナになるなんて考えてもみませんでした。一日も早くコロナがなくなることを祈るばかりです。自分がコロナにならないように気を付けています。マスクを嫌がる気持ちは分かります。うっとうしく感じるのではないのでしょうか。夏とか特に嫌がるのではないのでしょうか。

▼新型コロナウイルスが1日も早くインフルエンザ同様の扱いになる様に願います。そしてマスクの義務化が無くなればマスクが着用できない人も精神的苦痛から開放できると思います。マスク義務化がある限りは理解出来る人、出来ない人が居る事は自然な事で人それぞれ考え方が違います。

新型コロナを特別なものではなく、風邪の一種となる様に望みます。マスク義務化には反対です。

▼「3歳以上はマスク着用してください」だけではなく、「できない子は・・・」（←こういう補足があると助かる。）3歳以上全てが必ずマスクできる前提となっているのはつらい。

▼母子家庭ですが、感染した時の事を考えると子供は一人では隔離生活はできませんし、何か特別な配慮はあるのでしょうか？色々考えると心配でたまりません。